

認知症当事者講演会

# 認知症になっても 自分らしく暮らすために

鎌倉市福祉センター第1・第2会議室  
**2月2日(日) 13:30~15:30**

■第1部…認知症の人との関わりの基本を学ぶ 13:30~14:15

## 「認知症とともに笑顔で暮らすヒント」

講師 稲田秀樹 (かまくら認知症ネットワーク代表理事・さくらコミュニティーケアサービス代表取締役)

認知症について身近な暮らしに焦点を当てて認知症の人への“良い関わり”や“ダメな関り”をわかりやすく解説します。また地域貢献を行うデイサービスで楽しく汗を流す認知症の人たちの取り組みを紹介します。

■第2部…認知症当事者から学ぶ 14:15~14:45

講師 平澤英昭氏 聞き手:稲田秀樹 14:15~14:45

## 「自分らしく普通に暮らしています！」

平澤英昭氏プロフィール:鎌倉市在住、東京都大田区の生まれ、父親が早くに他界、3人兄弟の長男、中学卒業後働きながら定時制高校に通う。定時制高校では山岳部に入り日本全国の山を踏破。現在は介護サービスを利用しながら一人暮らしを続ける。楽しみは月に1回程度自宅近くの回転寿司に食事に行くこと。

■第3部…トークセッション 14:45~15:30

## テーマ「認知症があっても普通に暮らしていくために」

加藤依子氏…かまくら脳神経外科院長、鎌倉市城廻で脳の画像診断ができる医院を開業、認知症サポート医

山隈岳大氏…湘南鎌倉医療大学大学院看護学研究科博士課程、病院勤務の傍ら入退院支援の研究を行っている

山中綾華氏…NTT人間情報研究所共生知能研究プロジェクト、認知症当事者の意向調査を担当している

「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行され、内閣府が9月に示した認知症施策推進基本計画案に於いて『新しい認知症観』が示されました。「新しい認知症観」とは…、認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望をもって自分らしく暮らし続けることができる」という考え方です。トークセッションでは超高齢社会を迎えている鎌倉市での暮らしのこれからについてトークゲストと参加者とで意見を交わします。

主催:一般社団法人かまくら認知症ネットワーク

定員:会場60人+ZOOM100人(ハイブリッド開催)

参加費:無料 会場:鎌倉市福祉センター第1・第2会議室

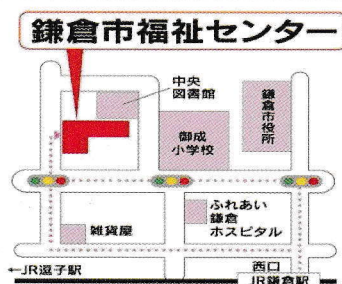
参加者:鎌倉市在住在勤の人等

後援:鎌倉市

日本認知症ケア学会

認知症ケア専門士単位認定講座

※活動資金の寄付のお願い。会場に寄付箱を設置しております。ご協力をお願い致します。



■申し込みは、電話  
**0467-47-6685**  
またはQRコードの  
申込みフォームから

